

モートンイトトンボ		熊本県カテゴリー 絶滅危惧 I A 類 (CR)
<i>Mortonagrion selenion</i> (Ris, 1916)		環境省カテゴリー 準絶滅危惧 (NT)
選定理由	県内局限、近年減少、その他 (希少)	イトトンボ科
生息環境	平地～山地の草丈の低い挺水植物が見られる湿地や休耕田	
生息状況	生息が確認されているのは県北地域と県央地域である。県北地域 (阿蘇市) の湿地でも生息地が確認された。しかし、植生の遷移の進行で部分的に開放水面が減少し、生息環境は悪化している。山都町には保護区があるが、人工的に造成された池である。両生類や水生昆虫の侵入で個体数は減少している。	
生存への脅威	自然遷移、湿地の乾燥化、管理放棄	
特記事項	保護区では定期的に管理維持に努める必要がある。多様性条例 (指定希少野生動植物)。	

撮影：田原朗敏

※「レッドデータブックくまもと2019」より抜粋

(県ホームページ：<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/52/50813.html>)